

# RIETI BBLセミナー コメント

2022年9月29日

仲田泰祐 + 藤井大輔 = 著  
コロナ危機、経済学者の挑戦

慶應義塾大学・RIETIファカルティフェロー

小林慶一郎

# 2021年初めの分析

- ワクチン接種が予定されていたが、まだ実施は進捗せず
- 仲田・藤井分析が示したこと  
「強い行動制限で感染拡大を遅らせることに大きなオプションバリューがある」
  - 行動制限は感染を遅らせるだけなので、それだけでは累計の被害を減らせない
  - 行動制限で感染を遅らせている間に**ワクチン接種が進めば**、累計の被害は減る
  - 人命の損失も、経済損失も、両方とも減らせる
  - 拙速な緊急事態宣言の解除は望ましくない

# オリンピックの分析

- 分析結果の概要
  - 海外からの観客が来日しても、また、競技会場に観客が来場しても、観客から直接に感染が広がる効果は大きくない
  - 日本全国で、オリンピックの応援のために人々が外出を増やせば、感染拡大が大きくなる。
- 無観客開催を必ずしも支持する分析結果ではなかったが。。。

# 行動制限による人命の損失

- 2021年から自殺の増加について分析
- 2022年からは、婚姻の減少、出生数の減少の可能性なども千葉安佐子氏（東京財団政策研究所）と共に指摘
- 自殺：人数だけでなく、失われた平均余命で比較
- 失われる可能性のある出生数：25万人
- 2022年には広く注目されるようになった

# オミクロン株のリアルタイム分析

- 2022年初のオミクロン株の致死率のリアルタイム推計
- 行動制限の必要性についての判断に影響
- リアルタイムの推計についての躊躇
  - オミクロンの感染は最初は子供たち。高齢者には感染まだ広がらず。
  - 「ナイトの不確実性」のもとで、シミュレーションによる予測をどのように扱うべきか。なんらかのMax-Minルール？

# 仲田・藤井チームの貢献の意義

- 定量的な分析手法を感染症問題にタイムリーに応用
- 重要局面において、政策検討の非常に大きな指針となった
- リアルタイムの分析であるだけに「ナイトの不確実性」に直面（金融政策も同様だが、、、）
- 経済学者が「人命」を扱って世の中に発信したモデルケース
  - 経済学界では、人命を扱うことはタブー（コロナ前まで）
  - 人命を扱う経済分析において、ナイトの不確実性にどのように対処するか、ルール作りが求められるのではないか（Max-Min など）